

いとまん

市議会だより

第110号

平成31年3月5日発行

＝平成30年第6回（11月）臨時会＝
＝平成30年第7回（12月）定例会＝
＝平成31年第1回（1月）臨時会＝
＝平成31年第2回（1月）臨時会＝



第10回 糸満市“^{ちゅ}美らキャロット”収穫祭

平成31年2月1日、喜屋武地区で糸満市農業戦略産地連絡協議会（共催：糸満市、JA おきなわ糸満支店）による美（ちゅ）らキャロットの収穫祭が行われました。写真はオープニングの喜屋武こども園による遊戯と収穫体験の様子。



平成30年第6回
(11月)臨時会

平成30年第6回臨時会は
11月20日に開催されました。
同臨時会には、議案1件及
び報告1件の提出がありまし
た。

議案等の処理結果について
は、12ページに掲載してあり
ますので、御参照ください。

糸満市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

本案は、旧座波保育所跡の増改築工事を実施することから、園舎の機能を一時的に代替施設へ移す必要があるため平成29年12月定例会及び平成30年9月定例会において改正した本条例の一部を改正するための議案です。

平成30年第7回(12月)定例会

平成 30 年第 7 回定例会は、12 月 4 日から 12 月 21 日までの 18 日間の日程で開催されました。同定例会には、市長から人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問 2 件、平成 30 年度一般会計補正予算（第 4 号）などの議案 12 件及び報告 1 件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12 ページに掲載してありますので、御参照ください。

平成30年度一般会計
補正予算（第4号）

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ23億168万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ277億9126万円とするものです。補正の主な内容は次のとおりです。

○国民健康保険事業繰出金
13億5490万円

○障害者福祉サービス費等給付事業 9256万円

○保育士正規雇用化促進事業
441万円

○公園管理費（經常分）
4576万円

○省エネ設備化推進事業（一括交付金） 4791万円

○小学校舎大規模改造事業
(空調) 3億2684万円

○中学校校舎大規模改造事業
(空調) 2390万円

人権擁護委員候補者の推薦について

本案は、人権擁護委員法第6条第1項の規定に基づき委嘱される本市の人権擁護委員として、金城盛憲氏、上原なおみ氏の2名を候補者として推薦するため、同条第3項の規定により、議会の意見を求められたものです。

糸満市火災予防条例の一部を改正する条例について

本案は、工業標準化法が改正されたことにより、条例の字句を改正する必要が生じたことと、不特定多数の者が出入りする施設等については、火災発生時の人命危険性が高いことから、重大な消防法令違反がある場合、利用者等に建物の危険性に関する情報を市または消防本部のホームページで公表することにより、利用者自ら建物の利用の適否を判断し、火災被害の軽減を図ることを目的として、条例の一部を改正するための議案です。

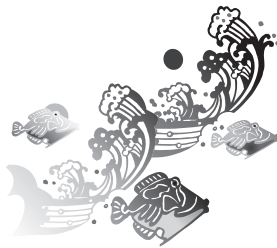
指定管理者の指定について (糸満市健康づくりセンター願寿館)

本案は、公の施設、糸満市健康づくりセンター願寿館の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、あらかじめ議会の議決を求められたものです。

平成30年度一般会計 補正予算(第5号)

否決

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ1439万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ278億565万円とするものです。補正の内容は県民投票関連予算でしたが、賛成少数で否決されました。



平成31年第1回 (1月)臨時会

平成31年第1回臨時会は、1月8日に開催されました。

同臨時会には、12月定例会で否決された平成30年度一般会計補正予算(第5号)の再議の件についての提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

平成30年度一般会計 補正予算(第5号)

可決

本案は、12月定例会で否決された議案です。県条例で定められた義務費であるとして、再議に付されたものです。採決では可否同数となり、議長裁決で原案のとおり可決されました。

補正の内容は次のとおりです。

○県民投票関連予算

1439万円

平成31年第2回 (1月)臨時会

平成31年第2回臨時会は、1月18日に開催されました。

同臨時会には、平成30年度一般会計補正予算(第6号)などの議案2件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

工事請負契約について (米須小学校校舎新增改築工事(建築))

本案は、米須小学校校舎新增改築工事をするため、工事請負契約を締結するための議案です。

本契約は、予定価格が1億5千万円以上となるため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求められたものです。

平成30年度一般会計 補正予算(第6号)

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ1億3287万円を追加し、歳入歳出予算の総額を279億3853万円とするものです。

補正の内容は次のとおりです。

○小中学校校舎大規模改造事業
1億3287万円



増改築予定の米須小学校

市政をただす

一般質問

平成 30 年第 7 回定例会では、12 月 13 日、14 日、17 日、18 日までの 4 日にわたり、19 人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1 人 1 項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

聖火ランナーを平和祈念公園からスタートすることについて



玉城 哲郎 議員

世界平和の祭典である

2020 年東京オリンピックの聖火ランナーは沖縄県で 2020 年 5 月 2 日と 3 日であるが、その場合、平和祈念公園からスタートする考えはないか。

教育長 本市としても議員提案と同様に、スポーツの振興

や平和の発信地である糸満市、平和祈念公園を中心にスタート、通過してほしい旨を県に口頭で本市の考え方を伝えたとところである。聖火リレーのルートは、最終的に東京 2020 組織委員会でも来年の夏ごろに決定されると聞いている。

哲郎 スタート地点を平和祈念公園でしてほしいという強い気持ちがある。もしできなくても、本市がルートにな

ることは確かだと思うが、その場合、各地域の子供たちを聖火ランナーにしてはどうか。米須であれば米須の代表者、伴走者は小中学生でもいいと思うが、各地域の方たちにやっていただくのはどうか。

教育委員会指導部長 聖火リレーのコース等、詳細がわかったときに地域の方の参加が認められる状況であれば、そこは検討したい。

哲郎 聖火ランナーのスタートを平和祈念公園としたほうがいいと思うがどうか。

教育長 議員の考えと全く同じで、糸満市の平和祈念公園がスタートにはふさわしい場所だと認識している。

哲郎 ぜひスタート地点を平和祈念公園としてほしい。



平和祈念公園から聖火ランナーのスタートを

子供の貧困対策について



金城 一文 議員

① 沖縄県が実施した沖縄子ども調査における放課後の格差状態について把握しているか。

② 本市として格差解消に向けて取り組む考えはないか。

福祉部長 沖縄子ども調査において、子供への支出の項目で貧困層で学習塾に通わせられない世帯が非貧困層の 2・5 倍から 2・6 倍。習い事に通わせられない世帯も非貧困層の 2・5 倍から 3・1 倍となっている。このことから貧困層と非貧困層の子供の放課後の環境には大きな格差があるものと認識している。

② 生活困窮者を対象とした無料学習塾いまなび、ゆいとを初め、児童センターや社会福祉協議会、自治会集会所等における子供の居場所事業、ひとり親家庭への学童クラブ利用料助



子供の貧困対策では多様な学習支援が求められる

成等を実施している。

金城 家庭の事情、経済的な理由で子供たちが普通にできるような習い事ができないとなると、自分の不遇な現状に投げやりな感情を持ってしまいかもしれない。そういうところが無いように、何らかの形で行政が支援できないか。例えば要保護、要保護の家庭を対象に学習塾や習い事への補助を行う予定はないか。

福祉部長 学習塾への助成については、無料学習塾を活用している。同事業の継続、拡大ができればと考えている。習い事については、平成31年度に内閣府において検討されている地域の体験活動事業を活用できないか、現在情報を収集しているところである。

①市の割り当て個数について。②周知活動について伺う。

福祉部長 ①ヘルプマークは義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見からはわからなくても援助や配慮を必要としている方々が周囲に配慮を必要としていることを知らせるためのもので、東京都により作成されたマークである。本年10月から沖縄県が導入することになり、糸満市への割り当て個数は162個となっている。②市広報紙への掲載並びに社会福祉課窓口、庁舎ロビー掲示板上にポスターを掲示している。また障害者週間の期間中の12月4日から7日まで市役所ロビーにおいても



金城 悟 議員



沖縄県が配布しているヘルプマーク

ポスターを掲示している。あわせて自治連絡員会議において、各自治会にポスター掲示をお願いする予定であり、継続した周知活動に取り組んでいきたい。

金城 周知活動の1つとして、いとちゃんminiの車内にヘルプマークのポスターを掲示できないか。

福祉部長 中つり広告等について担当部署と調整していきたい。

金城 市庁舎駐車場にある障がい者専用駐車区画において、車椅子のマークと一緒にヘルプマークを掲示してはどうか。

福祉部長 ヘルプマークは、支援を必要としているということで、その内容が適当かどうか内部で検討させていただきたい。

①糸満与那原線と国道331号糸満道路高架下交差点へのラウンドアバウト導入に向けての進捗状況について。②その他の事業でラウンドアバウト導入実施に向けての進捗状況について(市道与那堀線、市道潮平兼城線)。

建設部長 ①南部国道事務所へ確認したところ、定点カメラによる調査を終えて、ラウンドアバウトの必要性、課題等の整理を行っており、導入については継続し必要性の検証を進めていきたいとのことである。②市道与那堀線のラウンドアバウトの交差点協議については、公安委員会との調整は完了し、現在、道路管理者である沖縄県と交差点計画を協議中である。また交差点工事は平成32年度を予定し



金城 寛 議員



市道与那堀線糸満高校南ラウンドアバウト交差点完成予想図

ている。市道潮平兼城線については、平成29年2月にラウンドアバウト部分の交差点設計を完了し、現在、用地買収を進めている。

金城 市道与那堀線と市道潮平兼城線のラウンドアバウトの完成年度及び当路線の供用開始の時期を伺う。

建設部長 市道与那堀線のラウンドアバウト完成と供用開始は平成32年度の予定である。市道潮平兼城線は、事業認可期間を34年度まで延伸する手続をとっており、34年度完成を目指して取り組んでいる。

金城 ラウンドアバウトとこの一帯の路線は、一緒に完成しないと効率的な効果が出ないと思う。一緒に完成、供用開始できるよう進めてほしい。



金城 敏 議員

高嶺小中学校の中小 一貫教育移行について

①進捗状況について。②移行するメリットについて伺う。

教育長 ①8月に名護市立緑風学園を視察し、意見交換及び授業参観を行った。現在は、糸満市中小一貫教育基本計画の策定に向けて調整している。

教育委員会指導部長

②緑風学園においては、英語教育に力を入れており、小中9力年を通じて自国、他国の言語文化について理解を深め、積極的に英語教育を取り入れながら、総合的な英語力の向上を図っている。このように他の

学校にはない外国語、地域文化に特化した授業カリキュラムを組むことで特色ある教育活動が展開できるものと考えている。また、中一ギャップによる不登校等に陥る児童生徒の心理的負担の軽減や教育

目標を統一できることで、同じ教育観に基づいた教育を実施でき、学習、生活指導も一貫した指導が可能である。さらに、小学校と中学校で教職員間の交流が図られ、あわせて小学校に教科担任制を導入しやすいなどのメリットがある。

金城 高嶺小中学校ではどのような特色のカリキュラムを予定しているか。

教育委員会指導部長

英語・外国語活動や地域のあるさと学習という形で考えている。

金城 ほかの校区からの入学は可能か。

教育委員会指導部長

市内のほかの地区からも定員等を決めて受け入れられるか、今後検討していきたい。



中小一貫校への移行が検討されている高嶺小学校



金城 幸盛 議員

真壁こども園の園庭 整備について

①保護者会から提出された「園庭整備に関する要望書」への対応を伺う。②園庭が使用できない期間の保育、教育の具体的な対応を伺う。

福祉部長

①要望書の概要は、降雨時、真壁小学校校庭土砂の大量流入に関する事。園庭内の砂利の大量浮上に関する事。この2点であった。市は、

11月14日付で要請への回答を行い、20日に保護者説明会で回答内容及び今後の対応について説明した。市の説明概要は、隣接する小学校校庭に比べて園庭が低い大量の雨水が流入することから、土砂を削り取り、小石等が浮上している。そのため園庭の雨水の侵入防止のため、小学校校庭と園庭の境界にあるフェンス沿いをかさ上げし、さら



芝の整備が行なわれる真壁こども園の園庭

に芝を敷設することで、園庭の雨水侵入防止策を講じたい。また園庭の補修として新しく土を入れ、芝を敷設することで、園児が安心して活動できる環境を整えたい旨の説明をし、同費用にあつては、12月定例会で補正要求することも伝えた。②工事及び芝の養生のため、約50日程度の使用制限期間を想定している。そのため、近接する教育施設の活用や散歩等、施設外の取り組みなどについて、真壁こども園並びに小学校と調整したい。

幸盛 多感な時期の子供たちの50日はすごいスピードで成長する大切な時期だと思う。そういった点も市は配慮し、対応してほしい。



新垣 安彦 議員

県漁連及び糸満漁協 からの要請について

沖縄県漁連会長及び糸満漁協組合長から提出された糸満漁協への新市場整備に伴う関連施設整備等への要請について、①沖縄県漁業協同組合連合会等の水産関連団体が補助事業対象者としてすることについて。②一次加工施設等の関連施設への支援について。③船舶の航行安全に必要なしゅんせつ及び標識灯の敷設について伺う。

経済観光部長

①現在どの団体が補助対象者となるのか、他市などの資料を収集して、検討している。②現在、一次加工施設や関連施設の規模事業主体が決まっていない状況である。先進地の事例や資料収集に努め、検討したい。③県及び関係省庁を確認の上、働きかけたいと考えている。



新市場整備が予定されている糸満漁港北地区

新垣 要請が実現できるような取り組んでほしい。そのために、今後どういう形で行動するのか、市長の見解を伺う。
市長 市場整備そのものも当然だが、それ以外の漁港施設もさらに充実させる必要がある。沖縄県管理の漁港なので、県のほうでしゅんせつ、標識灯、それ以外にも漁船の修理施設等、岸壁の整備も今後必要になってくると思う。そういう全体的な漁港整備を県へお願いし、国にも要請が必要だと思う。期間が決まっているので、全力で取り組んでいきたい。
新垣 市長の並々ならぬ決意を受けて、担当部はぜひ実現に向けて取り組んでほしい。



玉村 清 議員

糸満小学校運動場のバックネット補修工事について

台風24号による強風で糸満小学校運動場のバックネットが倒れて、水道パイプに当たりパイプが破損し、漏水する事故があった。基礎がしっかりしたバックネットを早急に設置してほしい。そこでバックネット補修工事の内容について伺う。

教育委員会総務部長 糸満小学校運動場のバックネットは老朽化が著しく、さびついで、部材の欠損も見られることから、バックネット土台部の鉄骨を取りかえる必要がある。また、バックネットの設置は、強風時の転倒防止の安全対策として、コンクリート基礎に埋め込んだアンカーボルトに固定するのが望ましいと判断している。バックネットの補修工事は、今後学校側



台風で倒れた糸満小学校運動場のバックネット

並び少年野球クラブ関係者と協議の上で進めていきたい。
玉村 台風でバックネットが倒れた後、私たちが糸満小学校周辺の清掃作業をしているときに、ちょうど水道パイプが破裂した。そういうことで、今回ぜひバックネットの基礎をコンクリートにして、なるべくさびないように、西崎小学校のバックネットのような形で補修してほしい。今回少年野球クラブから要請があったか。
教育委員会総務部長 直接は聞いていない。
玉村 ぜひとも子供たちのために早急にバックネットを補修されるようお願いしたい。

保育行政について



伊敷 郁子 議員

西崎こども園とにじのはし保育園・はとぽっぽ保育園との連携協定解除について、市は一方的に行えるのか、法的根拠も含め伺う。

福祉部長 法的根拠について、施設間による連携協定書を交わさなければならぬ旨の法律上の明記はない。ただし、糸満市地域型保育事業所の設備及び運営に関する基準を定める条例により、連携施設を確保する際には、書面でその内容を定めるよう要請している。今回、公立園の職員数の減により、公立園運営の一部縮小が必要との考えから、連携施設に関する協定書第6条、効力の期間に変更が伴うことから、保護者説明会前に小規模保育事業所の園長に対し、西崎こども園3歳児の募集休



小規模保育事業所の安定した連携施設の確保を

止が必要であること、また連携施設の確保は、小規模保育事業所の運営に直接的影響をもたらすことから、同じ西崎地区内の法人こども園より代替の連携先として承諾を得ている状況等の説明を行い、更新が困難であることを伝えた。
伊敷 私が懸念するのは、このような前例をつくると、今後提携園が園の都合で勝手に契約解除ができてしまうことである。市でさえも一方的に解除している。小規模保育事業所が今後の経営に不安を持つのは当然だと思う。本市の待機児童の解消に小規模保育事業所の果たす役割は大変大きい。安定した運営をするためにも今後の対策をしっかりとってほしい。



新垣 勇太 議員

潮平こども園の休園について

福祉部長 潮平こども園について、平成30年度の募集案内を行ったところ、11月末現在で受け入れ園児数は5歳児、4歳児と定員の半数に満たない状況にある。教育・保育要領にある個の成長と集団としての活動の充実を図ることを基礎とし、教育・保育に取り組んでいる。他施設と比べ、集団の規模が小さいことから、現在利用している保護者の皆様や地域説明会において、子供たちの発達の段階を考慮した場合、次年度以降もこの状態を続けることが園児の成長に有益であるか、さらに区内に定員に余裕のある民間施設があり、在園児の保障が可能であったことから次年度休園が適当である旨を説明した。

新垣 現在、学童保育の需要

がある、学童の待機児童が多いという話を聞いている。休園する潮平こども園で学童保育ができないか。

福祉部長 次年度実施予定の公立こども園のあり方検討において方針が示された後に、その施設の必要性が議論された場合に議員提案の内容についても取り上げたいと考える。

新垣 早急に必要だと思うので公立こども園のあり方検討とは別で考えてもらえないか。

福祉部長 今後予定しているあり方検討の中で議論して施設利用の考え方が示される市の方針がある程度示してから、今後の展開を考えたい。
新垣 ぜひ早目に検討して実現していただきたい。



学童保育施設の充実を



浦崎 暁 議員

教育行政について

学校給食センター検討委員会の開催状況を伺う。

教育長 学校給食センター基本計画検討委員会を立ち上げ、第1回目の委員会を開催した。

浦崎 学校給食センターについては、今定例会でPFI、アウトソーシングといった民間の委託の議論が行われているが、一概に全てがよいことだけではないと思う。やはり公的な責任も重いものがある。慎重な議論をしないと、子供たちの学校給食は命と健康にかかわってくる問題である。経費削減につながるコストカットとか市場原理的な問題で議論されると非常に危険な状況になっていくと思うが見解を伺いたい。

教育委員会指導部長 PFIのメリット、デメリットにつ

いても、指摘のとおり当然あると思う。やはり食の安全性は人が健康に生きていく上で基本的な問題であり、特に子供たちへ食を提供する給食センターにおいては品質、調理の点検等、きちんとやっていかないといけないと認識している。きょうの意見は検討委員会に持ち帰って、しっかりと進めていきたい。

浦崎 公的な領域は守って、きちんと市民に対して責任を果たしていくのが問われる時代になっている。国においては、ライフラインの一番重要な水道まで民間委託できるようになった。だからこそ、地方議会においても民間委託はきちんと議論していかなくてはならないと思う。



建てかえ計画のある学校給食センター



西平 賀雄 議員

国道331号豊見城・糸満道路西崎地区部分の高架道路への変更について

平成28年3月、豊見城・糸満道路が全面開通して以来、交通量は年々増加傾向にある。県漁連卸売市場の西崎地区移転が実現性を帯びてきており、特にサムシングフォー西崎前交差点の渋滞はますます増加することが予想される。将来に向けて、西崎地区部分について高架道路に変更すること。を今から国へ要請する必要があると思うが見解を伺う。

建設部長 過去に本市から同道路西崎地区の平面交差を要望し、現状の交差点になった経緯があり、現在のところ高架道路への変更は考えていない。

西平 同交差点の右折矢印は4秒で、その間に抜ける車はせいぜい5台であり混雑している状態。この状態で泊いゆ



国道331号豊見城・糸満道路の交通渋滞解消を

まちが移転すればますますひどくなる。それに真栄里地区物流センター計画がある。同道路が全面開通するのに40年がかかっており、早目早目の対策が必要である。市として国に要請する考えがないか再度伺う。

建設部長 泊いゆまちの移転、真栄里の物流団地等が整備されれば交通量も相当増加すると認識している。国道の高架については、社会情勢の変化や交通事情などさまざまな要因が考えられる。今後、経過を注視していきたい。

西平 経過を重視して、必要であれば、ぜひ早目早目に国に要請するようお願いしたい。



徳元 敏之 議員

TPPの年内発効による県農業への影響について

①産業分野における影響について。②サトウキビについては、どのような影響があるか。③サトウキビの交付金単価が6年ぶりに増額されたが、調整金は今後縮小するおそれがある。引き続き、JAや日本政府の支援が必要であると思うが、見解を伺う。

市長 ①段階的な関税の引き下げにより、安価な輸入肉等の増加が予想され、県産食肉価格の下落等も想定され、本県畜産業に与える影響は大きいと思われる。②さとうきび交付金の原資ともなる糖価調整制度が原則維持されることになっているが、糖価調整制度の対象外となる加糖調整品の輸入増加となった場合に調整金が縮小することが予想され、影響が出てくるものと思



TPPによる影響が予想されるサトウキビ

われる。③現在の単価を維持することが必要であり、国等の支援は必要であると考える。

徳元 TPPが年内発効されることで農業関係者は今戸惑っていると思われる。特に畜産業の中で養豚業に与える影響が大きいと思うが、その対策についてどう考えているか。

経済観光部長 養豚業のTPP対策として、肉豚経営安定交付金制度がある。収益が生産コストを下回った場合、差額の9割を補填するもので養豚農家の経営安定を図る事業となっている。

徳元 国策なので、いろんな方面で一緒に協力して、国のほうにも働きかけてもらいたい。



當銘 真栄 議員

学校教育環境について

普通教室へのクーラー設置の進捗状況を伺う。

教育長 市内小中学校全普通教室へのクーラー設置は、今年度から平成34年度までの5年間で設置計画をしていたが、国の平成30年度補正予算のブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金事業に係る予算成立にあわせて、小中学校全普通教室への空調設置前倒しに必要な補正予算を今議会で議決を得たので、早期に事業を進めていきたい。事業のスケジュールについては、全国の自治体から短期間に注文が集中することが想定され、技術者不足に係る入札不調や空調機製造元の供給能力などの懸念材料があるが、実施設計を早期に終えて、次年度の夏休み期間中に完了し、2学期か



クーラー設置で快適な学習環境を

らの稼働を目標に取り組んでいく考えである。

當銘 空調設備の工事に関しては混み合う時期だと思うが、工事を前倒しできないか。

教育委員会総務部長 設計発注は2月末日までに設計を完了することで準備している。14校で195の教室、工事総額5億円である。なるべく早く発注したいと今準備しているところである。

當銘 教育環境がクーラーの中だと子供たちの学力ももっと上がると思う。体育の授業終了後に下敷きで仰ぎながら授業に集中できないという子供たちの声が聞こえるので、ぜひ次年度の2学期からはそういう環境で子供たちが授業できることを期待している。

市政運営について



金城 敦 議員

平成 28 年に市長に就任し、ことしは 3 年目に入り、糸満市再生に向けて精力的に取り組んでいるのは、市民も高く評価している。そこで何う。

① 2 年間の主な実績について。
② 政策の進捗について。③ 今後の糸満市の展望について。

市長 ① 実績及び政策の進捗について、(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター及び糸満のくらし体感施設の整備計画の見直し、大度海岸へのジョン万次郎上陸の地に記念碑の建立、市内全小中学校へのクーラーの設置、神奈川県厚木市との友好都市の締結、西崎運動公園のトレーニング機器のリニューアル、プロサッカーチームを初めとしたプロ・アマスポーツキャンプの受け入れ、いとまん平



本会議で答弁する上原市長

和トリムマラソンの開催などがある。③ 今後の展望として、高品質の海ブドウを生産するための新養殖技術の実証や糸満市元気島ヤサイ戦略構想の推進による糸満ブランドの確立、県漁連卸売市場の移転に伴う周辺整備による水産物流通・加工拠点の形成、高嶺小中学校の小中一貫校の推進による学校教育の充実、大型ホテルの誘致による体験滞在型観光の促進、認定こども園の整備推進による子育て政策の充実、運動施設の整備促進などに取り組んでいく。また今年度で真栄里地区の土地利用に関する基本計画を策定し、事業の実現性について検証する。

金城 にぎわいのあるまちにするため頑張っしてほしい。

国民健康保険の均等割について



菊地 君子 議員

① 生まれたばかりの赤ちゃんや収入のない者まで均等に 1 人当たり 2 万 7 000 円というのは、大きな市民負担ではないか。② 未成年者等、均等割の減免を実施している自治体もあるが本市も検討・実施するべきだと思うがどうか。

市民健康部長 ① 法定の軽減措置があるため、必ずしも全員が課税されているわけではない。また国保制度は、受益者全てで税の負担を行うことがあるべき保険税のあり方であるため、安定的な運営のためには必要な措置だと考えている。② 本市では特殊な事情により、未成年者のみで構成されることとなった世帯については、全額免除を実施しているが、一般的な世帯においては、未成年者という理由だ



国保税の見直しが望まれる

けの減免は実施していない。**菊地** 進んでいる自治体では収入のない子供たち、そして年金生活の皆さんにも同じように均等割を課すのはおかしいと減免の措置をしているところもある。本市においても検討すべきだと思うがどうか。

市民健康部長 他市町村の状況を踏まえて、検討する必要があると思うが、現在、多子世帯に関しては、軽減制度によって被保険者数が多ければ多いほど所得の割合を軽減できる所得の割合が高くなっている。以前よりは軽減措置が受けられる世帯はふえていると考えている。支払いが困難な場合は窓口で軽減制度が利用できないか相談してほしい。

学校給食センターについて



玉城 安男 議員

① 学校給食センターでは何人分の給食を準備しているか。
② アレルギー対策の給食はどのように取り扱っているか。
③ 給食の残量は何%で、残量の取り扱いはどうしているか。
④ 学校給食センターの移転改築の進捗状況を伺う。

教育長 ① 小学生が 4 7 4 3 食、中学生が 2 1 2 5 食、幼稚園とあわせて合計 6 8 8 4 食を提供している。

教育委員会指導部長 ② アレルギー対応食の調理室がなく、アレルギー対応食が提供できない状況である。保護者に対し、アレルギー対象原材料を表示した献立表を配布している。③ 残量調査は年 2 回実施しているが、10 月に実施した調査結果について、1 日平均で小学校が 7・3%、中



糸満市立学校給食センター調理室内

学校が7・2%となっている。残量の取り扱いについては、業者が毎日引き取っている。④学校給食センター基本計画検討委員会を立ち上げ、第1回目の検討委員会を開催した。**玉城** 職員を県外の先進地に視察派遣してほしいがどうか。**教育委員会指導部長** 新しい施設については教育委員会としても非常に興味を持って、情報を集めている。県内においては南城市、宜野湾市の視察を終えた。県外となると予算もかかるので、すぐにではないが、資料を集めつつ、可能かどうか検討したい。**玉城** ぜひアレルギー対策やあえもの等がつくれる施設を見学して、それも担うように、頑張してほしい。



上原 勝 議員

青色防犯パトロールについて

青色回転灯を装備した車両によるパトロールを行う活動で、民間団体などが、自主的に防犯パトロールをしているが、市の見解を伺う。

教育長 本市においては小中学校や防犯協会などの団体が青少年を事件、事故から守るために青色防犯パトロールを実施している。各団体の活動は地域の環境浄化、青少年の健全育成の面からも意義ある活動だと考えている。

上原 青色防犯パトロールの講習を受講した方からの声だが、申請等で手間取っている。父兄は子供たちが中学校を卒業すると青色防犯パトロールのメンバーとして認めてもらえないという現状がある。そこは警察で管理するのは限界があるので、住民票を取り

扱っている市のほうで管理をお願いできないかという要望があったがどう思うか。

教育委員会総務部長 手続の一本化については、必要な部分かと思う。警察への登録については個人の登録、車の登録が必要なので、卒業したら活動できないということもある。これについては今後、検討させてほしい。

上原 この事業は、教育委員会だけでなく、市民健康部の管轄でもあると思う。部署同士が連携を取ってほしいがどうか。

教育委員会総務部長 防犯協会等もかかわっているもので、市民健康部と連携しながら、協力していきたい。



青色回転灯装備車



国吉 武光 議員

高齢者の屋内温水プール利用料の減免について

糸満市都市公園条例で利用料金の減免規定があるが、この規定を高齢者のプール利用時に適用する考えはないか。

建設部長 指定管理者と協議を行ったところ、西崎プールへの高齢者の利用料金の引き下げは収支バランスをとるのが困難なため、経営上厳しいとのことであった。今後、どのような対応が可能か、指定管理者と協議していきたい。

国吉 高齢となると足腰が弱くなるが、プールなら運動できるという方がいる。プール利用により、介護にならずに自立して、自分のことは自分でできる状況までもっていかれると思う。減免は厳しいとのことだが、何名かのグループになって申請したら、適用できないか。福祉部、建設部で

協議を進められないか。**建設部長** 現状として、屋内プールにおいて回数券制度がある。1人1回510円。プールの利用について、回数券11回分で5100円ということと、11回行けば1回分はサービスとなる回数券制度がある。

福祉部長 他市町村において、プールを活用して運動教室を行っている事例は確認できている。同事例を導入する場合は、介護予防・日常生活支援総合事業の中に新たに組み込むことになる。当然予算枠があるが、現在予算枠いっぱい回している状況である。全体を整理しないといけないということになるので、今現状は考えていない。



高齢者が利用しやすいプール利用料へ

◆◆◆ 平成 30 年 第6回臨時会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
議案第 74 号	糸満市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	原案可決

◆◆◆ 平成 30 年 第7回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
諮 問 第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
諮 問 第 5 号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃
議案第 75 号	平成 30 年度糸満市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第 76 号	平成 30 年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第 77 号	平成 30 年度糸満市介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第 78 号	平成 30 年度糸満市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第 79 号	平成 30 年度糸満市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第 80 号	平成 30 年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第 81 号	平成 30 年度糸満市水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第 82 号	糸満市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第 83 号	糸満市職員の給与に関する条例及び糸満市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第 84 号	糸満市火災予防条例の一部を改正する条例について	〃
議案第 85 号	指定管理者の指定について（糸満市健康づくりセンター願寿館）	〃
議案第 86 号	平成 30 年度糸満市一般会計補正予算（第5号）	否 決
	「（仮称）糸満市文化・平和・観光振興センター」建設についての陳情書（平成 30 年 11 月 6 日付）	不 採 択
	平成 31 年度福祉施策及び予算の充実について（要請）	採 択
	公立幼稚園・認定こども園と小規模保育事業所との連携施設提携について（継続要請について）	〃
	組織基盤強化における専任職員の配置について（陳情書）	〃
	普天間基地 5 年以内運用停止の遵守を求める議会決議の陳情	継続審査
	臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	〃
	所得税法 56 条を廃止するよう国に意見書の提出を求める陳情書	〃
	「（仮称）糸満市文化・平和・観光振興センター」建設についての陳情書	〃
	「議会基本条例の制定」についての陳情書	〃

◆◆◆ 平成 31 年 第1回臨時會議案等處理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
	議案第 86 号 平成 30 年度糸満市一般会計補正予算(第5号)の再議の件	さきの議決を否決
議 案 第 8 6 号	平成 30 年度糸満市一般会計補正予算(第5号)	原案可決

◆◆◆ 平成 31 年 第2回臨時會議案等處理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
議 案 第 1 号	平成 30 年度糸満市一般会計補正予算 (第 6 号)	原案可決
議 案 第 2 号	工事請負契約について (米須小学校校舎新增改築工事 (建築))	〃